

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-233966

(43)Date of publication of application : 19.09.1989

(51)Int.Cl.

H04N 1/44

H04L 9/00

(21)Application number : 63-060943

(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 15.03.1988

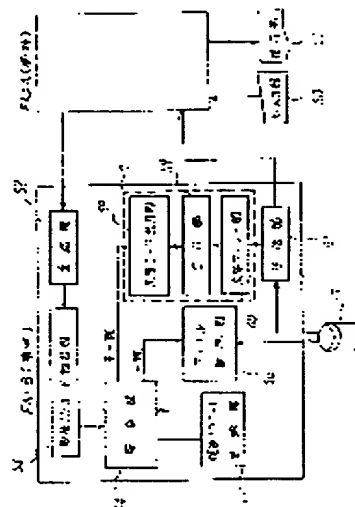
(72)Inventor : HASEGAWA KENICHI  
TAKAOKA RIE

## (54) CONFIDENTIAL POLLING ERROR NOTIFICATION SYSTEM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To avoid the operator to execute the same mistake again by sending a message to a caller facsimile equipment when a confidential ID code sent from the caller facsimile equipment is not coincident with the confidential ID code stored in the called facsimile equipment.

**CONSTITUTION:** When no code coincident with the sent confidential ID code is registered, that is, when an erroneous confidential ID code is sent, the result of collation by a collation section 54 shows dissidence. In this case, a character code is stored in advance by an output section 58. A character code corresponding to the message representing 'confidential ID is mismatch' is outputted sequentially and each character code is sent sequentially to a CG section 59. The character generator section 59 uses the code to generate a character font, and the character font section 60 stores tentatively the character font data. Thus, the character font data generated and stored in this way is sent from a transmission section 61 to a FAXA and printed out by a print section 51.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

## ⑫ 公開特許公報(A) 平1-233966

⑬ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)9月19日

H 04 N 1/44  
H 04 L 9/006940-5C  
A-7240-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全6頁)

⑮ 発明の名称 親展ボーリング誤り通知方式

⑯ 特 願 昭63-60943

⑰ 出 願 昭63(1988)3月15日

⑱ 発 明 者 長 谷 川 賢 一 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内⑲ 発 明 者 高 岡 理 恵 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社  
内

⑳ 出 願 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

㉑ 代 理 人 弁理士 山谷 皓榮

## 明 細 書

1. 発明の名称 親展ボーリング誤り通知方式

## 2. 特許請求の範囲

受信した親展IDを照合し、自ファクシミリの保持している親展IDと一致しないとき発呼側に保持データを出力しない親展ボーリング方式において、

自ファクシミリで取扱われる親展IDコードを保持する親展IDコード登録手段(4)と、

送信されたIDがミスではないかという内容のメッセージを保持してその文字フォントデータを出力する文字フォントデータ作成手段(7)を具備し、

発呼側ファクシミリから伝達された親展IDコードが被呼側ファクシミリで保持する親展IDコードと一致しないとき上記メッセージを発呼側ファクシミリに送信するようにしたことを特徴とする親展ボーリング誤り通知方式。

## 3. 発明の詳細な説明

## (目 次)

## 概 要

産業上の利用分野

従来の技術(第4図、第5図、第6図)

発明が解決しようとする課題

課題を解決するための手段(第1図)

## 作 用

実施例(第2図、第3図)

発明の効果

## (概 要)

親展ボーリング誤り通知方式に関し、

発呼側から送信された親展IDコードが被呼側の保持している親展IDコードと一致しないとき発呼側にIDミスであることを送信してこれを発呼側ファクシミリに出力することを目的とし、

受信した親展IDを照合し、自ファクシミリの保持している親展IDと一致しないとき発呼側に保持データを出力しない親展ボーリング方式にお

特開平1-233966(2)

いて、自ファクシミリで取扱われる親展IDコードを保持する親展IDコード登録手段と、送信されたIDがミスではないかという内容のメッセージを保持してその文字フォントデータを出力する文字フォントデータ作成手段を具備し、発呼側ファクシミリから伝送された親展IDコードが被呼側ファクシミリで保持する親展IDコードと一致しないとき上記メッセージを発呼側ファクシミリに送信するように構成する。

#### 〔整案上の利用分野〕

本発明は、ファクシミリ装置の親展ボーリング通信に用いる親展ボーリング誤り通知方式に係り、ID(識別番号)が不一致のときに親展IDが違ふことを発呼側に通知するようにしたものに関する。

#### 〔従来の技術〕

従来、ファクシミリ装置において、IDコードあるいはパスワード等の特殊コードを用いて親展

ボーリング通信を行なうことが知られていた(例えば、特開昭61-238137号公報参照)。このように従来の親展ボーリング通信方式は次のようになっていた。

第4図は親展ボーリング受信のプロトコルを示したものであり、発呼側ファクシミリFAXAでは、送出する信号の内、CCITT勧告T30でファクシミリ情報フィールドの内容まで規定されていない非標準信号NSC(非標準機能命令)を利用し、そのファクシミリ情報フィールドに割当てられた特定エリアに照合すべきIDコードまたはパスワードの情報を挿入して送出する。

また、被呼側ファクシミリFAXBは、FAXAのダイヤル信号、すなわちリング信号で呼び出されると、自動着信装置が該信号を検出し、電話回線をファクシミリ側に接続してCED(被呼局識別(トナール))、NSF、CSI(被呼局識別(バイナリ))、DIS(デジタル識別)信号を送出する。

FAXAでは、これらの信号を受信し、NSC

(非標準機能)、CIO(発呼端米識別)、DTX(デジタル送信命令)信号を送出する。

次にFAXBは受信した信号NSCのファクシミリ情報フィールドの特定エリアのIDコード等を読み出して予め登録されている親展IDコード等と照合し、一致していればTSI(送信局識別)、NSB(非標準機能設定)、TCF(トレーニングチェック)信号を送出してCFR(受信準備確認)信号の受信を待つて画信号PIXを送出する。

PIX信号の送出が終ると、手順終了信号BOPを送出し、続いてFAXAよりメッセージ確認信号MCPを送出し、さらに、FAXBでMCP信号を受けて切断命令信号OCNを送出して通信回線を切断し通信を終了する。

第5図は従来の親展ボーリング通信方式を説明するための図、第6図は第5図の被呼側ファクシミリFAXBにかかるフローチャートを示した図である。

第5図において、FAXAは発呼側のファクシミリ、FAXBは被呼側のファクシミリである。

第4図に通信プロトコルを示したように、FAXAでオペレータが親展ID、宛先、時刻を設定し、設定した時刻になると、FAXBへ発呼を行なう。

FAXBではFAXAからNSC信号を受けると、NSC信号内にある親展IDと一致するファイル、例えば親展IDコードをID<sub>K</sub>とすると、これに対応したファイルKを探し出し、FAXAへ送信する。

この時、一致する親展ID、すなわちID<sub>K</sub>がなかった場合は、FAXBは通信回線を切断してしまう。

#### 〔発明が解決しようとする課題〕

前記のような従来の親展ボーリング通信方式においては、FAXBで親展IDが正しくないということがわからず、通信切断となってしまう。このため、FAXAでは、オペレータが再びFAXBに対して同じ親展ボーリング受信を依頼してしまうことになる。

特開平1-233966(3)

結局、親展 I D コードの入力ミス等で正しくない親展 I D コードが送信された場合に、FAXA 側のオペレータにはミスであることがわからないため、何回依頼しても通信切断を繰り返す結果となる欠点があった。

本発明は、このような従来の欠点を解決するためになされたものであり、親展 I D が正しくなかった場合でも、オペレータが再度同じミスをおかさないことを目的としたものである。

#### 〔課題を解決するための手段〕

前記の目的を達成するため、本発明は次のようにしたものである。

第 1 図(内)図は本発明の原理を示した図であり、(外)図はブロック図、(中)図はフローチャートである。

今、発呼側のファクシミリ FAXA に対してオペレータがキー入力部 8 より親展 I D コードを入力する。この親展 I D コードの記入された信号を被呼側のファクシミリ FAXB へ送信すると、この信号は受信部 1 で受信された後、親展 I D コー

展 I D コードが正しくないことを知らせることができる。

#### 〔作用〕

このように、本発明によれば、親展 I D コードが正しくない場合に、その旨のデータを送り返して印刷出力するので、オペレータが親展 I D コードの入力を誤ったことが一目で判明する。

したがって、再度誤った親展 I D コードによる操作を繰返すことがない。

#### 〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を第 2 図、第 3 図に基づいて説明する。第 2 図及び第 3 図は、本発明の一実施例である親展ポーリング誤り通知方式を示した図であり、第 2 図は全体の構成を示すブロック図、第 3 図はフローチャートである。

第 2 図において、FAXA は発呼側のファクシミリ、FAXB は被呼側のファクシミリである。FAXA には親展 I D コードを入力するためのキ

ー入力部 2 で親展 I D コードを抽出する。

抽出された親展 I D コードは照合部 3 に送られ、親展 I D コード登録部 4 内をサーチして同一の親展 I D コードがあるかどうかを照合する。

その結果、送られてきた親展 I D コードと一致するものがあった場合には該当する親展 I D コードに対応したファイル部 5 内のファイルデータを取り出し、送信部 6 より FAXA に対して送信する。FAXA では送られてきたファイルデータをファクシミリ出力部 9 でプリントする。

また、FAXA より送られてきた親展 I D コードと一致するものがない場合には、親展 I D コードが正しくないのを、文字フォントデータ作成部 7 で、例えば「親展 I D は違います」のような文字フォントデータを作成し、送信部 6 から FAXA に対してデータを送信する。

FAXA ではこのデータを受信すると、ファクシミリ出力部 9 によって前記のような「親展 I D コードは違います」を印刷出力する。

これにより、オペレータに対して、入力した親

ー入力部 5 0 及びファクシミリ出力部 5 1 とを備えている。

また FAXB には、受信部 5 2、親展 I D コード抽出部 5 3、FAXA から送られてきた親展 I D コードと一致するものがあるかどうかを照合するための照合部 5 4、親展 I D コードを予め登録しておくための親展 I D コード登録部 5 5、ファイル制御部 5 6、親展 I D コードと対応するようにしてデータが保存されているファイル部 5 7、文字コード出力部 5 8、CG (キャラクター・ジョネレータ) 部 5 9、文字フォントデータが一時保持されている文字フォント部 6 0、発信部 6 1 とが設けられている。

今、FAXA のキー入力部 5 0 から親展 I D コードを入力し、NSC (非標準転送命令) 信号のファクシミリ情報フィールドに割り当てられた特定エリアに前記親展 I D コードを入れて FAXB へ送信する。

この NSC 信号は FAXB の受信部 5 2 で受信された後、親展 I D コード抽出部 5 3 へ送られて

特開平1-233966(4)

親展IDコードが抽出される。

抽出された親展IDコードは照合部54へ送られ、親展IDコード登録部55に一致する親展IDコードが登録されているかどうか照合される。その結果、一致する親展IDコードがある場合には、その信号をファイル制御部56へ送りファイル57内から該当するファイルデータを取り出して送信部61からFAXAへファイルデータを送信する。

FAXAでは、送られてきたファイルデータを印刷部51でプリントする。

次に、送られてきた親展IDコードと一致するものが登録されていない場合、すなわち誤った親展IDコードが送られてきた場合には、照合部54での照合が不一致となる。

この場合には、文字コード出力部58であらかじめ保持している「親展IDは違います」というメッセージに対応する文字コードを順次出力させ、各文字コードを順次CQ部59へ送る。

CQ部59では、このコードを用いてキャラク

トの方が好ましい。

〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明によれば、次のような効果がある。

(1) 親展ポーリング通信において、被呼側のファクシミリ内のファイルに発呼側ファクシミリで指定する親展IDファイルが存在しなかった場合、被呼側ファクシミリは発呼側ファクシミリへ「親展IDは違います」というようなメッセージを送信するから、発呼側のオペレータは親展IDが間違っていることがわかる。

(2) 親展IDが間違っていた場合、オペレータが直ちに気付くため、再度同じミスをおかさなくなる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の原理説明図、

第2図は本発明の一実施例構成図、

第3図は本発明の動作を説明するフローチャー

トのフローチャートを発信させ、文字フォント部60で文字フォントデータを一時的に保持する。

このようにして作成、保持された文字フォントデータは、送信部61からFAXAへ送られた後、印刷部51で印刷する。

このように、FAXAから誤った親展IDコードをFAXBへ送信した場合には、FAXBから「親展IDは違います」というような文字フォントデータが返送されて来れば、FAXAのファクシミリ出力部51で印刷されることになる。FAXA側のオペレータはこの印字出力をみて、IDミスであることがわかるので、キー入力部51より正しいIDを入力し、これにより再び親展ポーリングを行うことができる。

なおIDミスのときのメッセージは勿論上記の文章に限られるものではなく、IDミスであることを示すものであればよい。またこのメッセージは印刷出力に限らず、表示部に表示してオペレータに伝達することもできるが、オペレータがファクシミリより離れている場合もあるので印刷出力

ト、

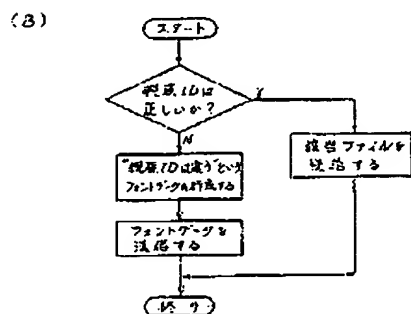
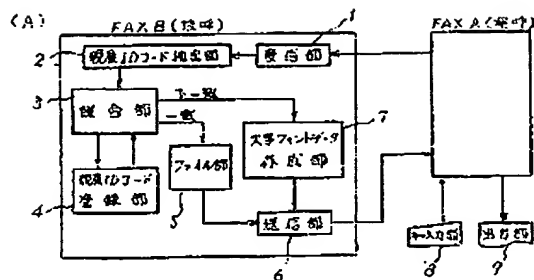
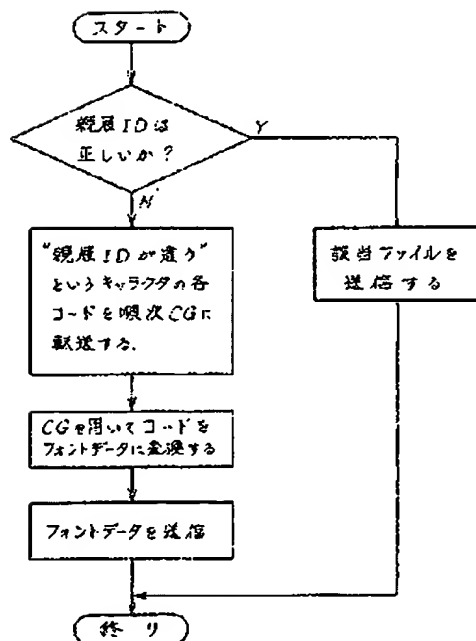
第4図はファクシミリのプロトコル説明図、

第5図は従来の親展ポーリング通信方式説明図、第6図は従来の親展ポーリングの動作説明図である。

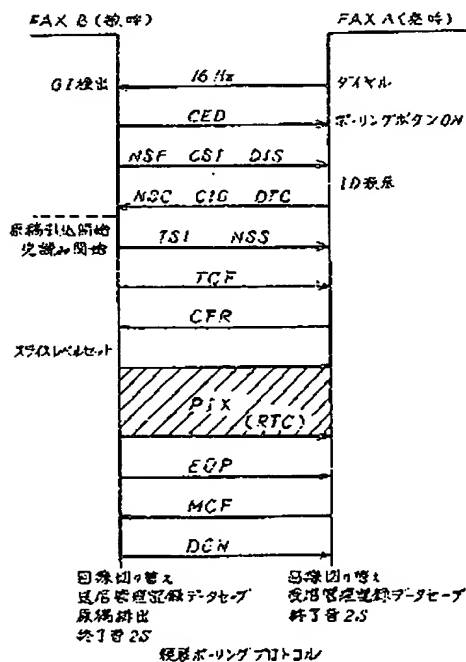
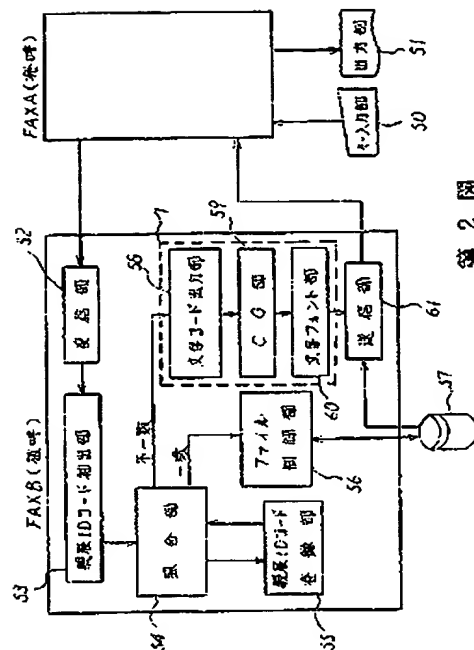
- 1, 52 … 受信部、
- 2, 53 … 親展IDコード抽出部、
- 3, 54 … 照合部、
- 4, 55 … 親展IDコード登録部、
- 5, 57 … ファイル部、
- 6, 61 … 送信部、
- 7 … 文字フォントデータ作成部、
- 8, 50 … キー入力部、
- 9, 51 … ファクシミリ出力部、
- 56 … ファイル制御部、
- 58 … 文字コード出力部、
- 59 … CQ (キャラクタジェネレータ) 部、
- 60 … 文字フォント部。

特許出願人 富士通株式会社  
代理人 弁理士 山谷 時 榮

特開平1-233966 (5)

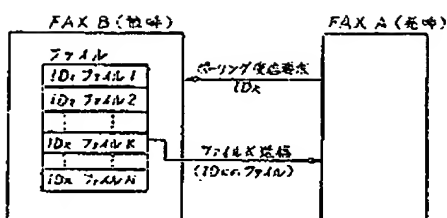
本発明の原理図  
第 1 図

第 3 図



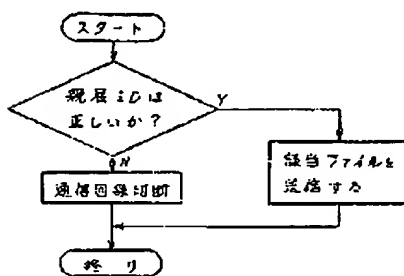
第 4 図

特開平1-233966(6)



従来の親展ホッピング説明図

第 5 図



従来の動作処理図

第 6 図